

日記2006年

ホーム

野鳥を学ぶ

自然を学ぶ

リンク

フィールドノート

サイトマップ

1/8 2006年スタートの鳥見は、「蕪栗」。いつもお世話になっているKさんから「蕪栗にトラフズク！」の情報をもらったからである。さっそく車を飛ばして現地到着。完璧な保護色のため、自力では見つけられない。プライドを捨ててスコープにトラフを入れてもらう。お～！と声が出てしまうぐらいの感動的な初対面である。じっくりと写真を撮ること3時間。背中しか見たことがないクイナや、コミミズク、チュウヒ、コチョウゲンボウ、(この時期珍しい)チゴハヤブサと続々登場。最後は目の前にカワセミ。久しぶりに至福の時でした。Kさん・・・お年玉をありがとうございました。<m(_)_m>



1/30 東京に出張してきた。「第1回子どもファーム・ネット全国交流会」に参加するためである。この交流会は、「子どもファーム・ネット」が主催した「第1回かべ新聞コンクール」の最終審査を兼ねており、12月末の1次審査をパスした48団体約100名の園児・児童・生徒が日本青年館に招待されて行われた。

勤務校の3年児童も担任と一緒に招待されたので、引率補助として出張。最終審査の結果は何と・・・最優秀賞である『農林水産大臣賞』に選ばれてしまったのである。思わず、記念写真を撮る手が震えてしまった。受賞の理由は、田んぼを農作業の体験場所とするだけでなく、ふゆみずたんぼと生き物を関連付けてまとめた点だと思う。総合的な学習の時間を使って上手にまとめた3年生とS先生、そして田んぼの学校を支援してくださったすべての方々に感謝したい。



3/16 今シーズン3回目の「平成17年度ガンカモ科鳥類生息調査」に参加した。伊豆沼中央部から飛び出したのは97羽。北帰はほぼ終了したようである。カウントの最中、蕪栗方面からきれいなV字型の編隊が上空を通過した。いつもと違い、かなりの高度である。秋田まで一気に飛んでいったのだろうか。無事を祈るばかりである。

前沼でおもしろいカモを撮影した。パッと見は「コスズガモ」なのだが、頭が緑がかっている。嘴爪の幅も広い……。どうやらスズガモ×コスズガモのハイブリッドのようである。それにしてもきれいな個体だった。



ちょっといっぷく 掲示板のスパム対策

4/15 多くはないが、毎日のように掲示板スパム(宣伝書き込み)があり、閉口していた。3月下旬から4月上旬にかけての2週間、『メンテナンス中』と称していろいろ対策を考えていたが、やっと使えるようなものが見つかった。『掲示板改造支援サイト』である。解説ページを読んでみると、欲しかった機能がちゃんとある！

- 投稿者のメールアドレスをソース上で切り分け、JavaScriptでつなぎ合わせて表示させるため、プログラム収集がされにくい。
- NGワードを設定して、掲示板スパム投稿(迷惑な宣伝書き込み)を排除できる。
- 投稿拒否されたスパム投稿は、ログに記録されるため、誤って処理された普通の投稿を管理画面から簡単に修復できる。

まだ使い始めて間もないので効果のほどは実証できないが、テスト投稿では「迷惑投稿として正常に処理されました」と表示……。思わず笑ってしまった。

4/24 効きます！ 『掲示板スパム(宣伝書き込み)』対策！！ この1週間で投稿拒否された書き込みは9件。そのほとんどが、

「プログラム投稿(非フォーム投稿)」でした。精神衛生上、とってもいいですね。逆に、まともな書き込みがとても少ないということを感じてしまいますが…。夏鳥がやってくるこれからの季節。できるだけフィールドに出て、情報を発信していきたいと思います。

5/14 1ヶ月の集計結果が出ました。投稿拒否数は37件。拒否理由は、以下の通りです。

プログラム投稿による拒否:33件 コメント内に禁止語句があるため拒否:3件 コメント内にURL欄と同じURLがあるため拒否:1件

『掲示板改造支援サイト』では、何時までも同じスクリプトを公開しているとスクリプトが解析されてスパムウエア側で対策を取られないとも限らないため、別バージョンも公開しているとのこと。ありがたいかぎりです…。

8/4 7月30日(日)15:30。我が家の裏にあるコンクリート部分をセミの幼虫がはっているのを発見した。不器用に歩く姿がかわいく、もしかしたらと近くの木の枝に止まらせて待つこと2時間半…とうとう羽化を始めた！
18時ごろに幼虫の背中が割れたと思ったら、中からすきとおった成虫が出てくる。羽は折りたたんでいられるため短いがとてもきれいなエメラルドグリーンである。羽化が始まって約1時間後には完全に羽が伸びきり、約3時間半後には体に色がつき始めた。

翌朝6時半ごろ見てみると、見事なアブラゼミの色になっていた。慣れ親しんだ種類のセミだが、みょうにかわいい。42年生きてきて初めて観察できたセミの羽化。大感動の夕方だった。



9/9 東北6県の小学生が、農業や農村環境の大切さについて学習したことを発表する『東北こどもサミット in 仙台』が仙台国際センターで開かれ、勤務先の児童も参加した。発表した事例は「ふゆみずたんぼとたんぼの学校」。4年間の生き物調査データをまとめ、ふゆみずたんぼと慣行栽培田の生物相の違いを小学生なりに発表したものである。

特にびっくりしたのが福島県。学校としてふゆみずたんぼに取り組んでおり、ずいぶん実践が広がっているなあ…と感じたのである。当日応援に駆けつけてくださった、振興事務所、土地改良区、登米市等、関係諸団体の皆様には心から感謝したい。

ただ一つ思うことがあった。それは…

どこの小学校もすぐ発表の練習をしてきて立派なのだが、「その原稿は誰が書いたの？」と疑問に思うのである。小学生は決して使わないであろう言葉のオンパレードには、う～ん…と思ってしまった。つまづいても、たどたどしくても、自分の言葉で原稿を書き、自分の言葉で語らせてはどうだろうか。小学生にはフリートークは難しすぎるとか、原稿がないとかわいそうとか思う気持ちも分からないのではないのだが…。

えっ？勤務先の小学生はどうだったかって？ 事例発表の原稿はすべて児童の言葉です。ディスカッションもただ1校、言葉に詰まりながらも原稿を見ないで一生懸命語っていましたよ。



10/28 いつものように「日本野鳥の会 宮城・山形県支部画像掲示板」を見ていたら、ビッグニュースが目飛び込んできた。仙台市に、マダラヒタキがやってきたらしい。どんな鳥？とフィールドガイドを手にしたが…のってない…。探すこと4冊。ようやく見つけた。

「日本の野鳥590 2000年 平凡社」によると、きわめてまれな迷鳥として、1991年10月に石川県舳倉島での記録があるのみらしい。てことは、日本で2例目！？

見つけたのが、10月22日(日)。いくらなんでも週末までいるはずがない。かといって、平日に休みをとるほど余裕がない。よって、完全にあきらめていた。ところが…画像掲示板を毎日チェックしていると、まだいるではないか。本日の朝は、ガンの飛び立ちカウントの日。でも濃霧でカウント不可能。チャンス到来！とばかりに行ってきました仙台市。



7時ごろ到着したのだが、すでにギャラリーがたくさんいた。駐車場のナンバーも、関東ナンバーがずらり。いやはや…とんでもない鳥が出たもんです…。正式な同定はまだのようだが、マダラヒタキ雌成鳥でほぼ間違いないようである。濃霧に感謝！ mametiさんに感謝！

12/31 トラフズクに始まり、マダラヒタキで終わった2006年。もっとフィールドに出たかったが、仕事の忙しさは年齢のせいもあるのだろうか……。来年はもっと忙しくなる予感がするが、少しでも時間を見つけてフィールドに出たい。

大晦日に書く話題が毎年同じ内容なのが気になるが……。来年出会える鳥に期待して……。今年一年、お世話になりました<m(_)>。

初めて見た鳥(ライファー)たち
トラフズク クイナ ムラサキサギ マダラヒタキ

[1991年](#) [1992年](#) [1993年](#) [1994年](#) [1995年](#) [1996年](#) [1997年](#) [1998年](#) [1999年](#)
[2000年](#) [2001年](#) [2002年](#) [2003年](#) [2004年](#) [2005年](#) [2007年](#) [2008年](#) [2009年](#)

[← 前へ](#) [🏠 ホーム](#) [上へ ↑](#) [次へ →](#)